

【1月24日（月）朝礼のお話】

全校のみなさん、おはようございます。今日は Zoom 朝礼になります。

1月に入って、新型コロナウイルスのオミクロン株が爆発的な感染拡大をして、あっという間に1日の感染者数が毎日のように更新され、21日から愛知県にもまん延防止等重点措置地に指定されました。朝礼もできるようになった矢先に、本当に残念でなりません。

しかし、コロナの感染拡大はすぐそこまで来ています。今日も体調不良の人や、家族が陽性になったり、PCR 検査を受けたり等で欠席者がとても多い状況です。みんなで感染防止対策をしっかりとって、学校がクラスターにならないように協力していきましょう。

さて、今から最近気になったニュースから2つお話します。

1つ目は、マクドナルドの「マックフライポテト」のMサイズとLサイズの販売制限についてです。このニュースはたくさんの方が知っていると思いますし、残念に思っている人もいると思います。では、この現象がどうして起きているかを知っていますか？

マックフライポテトの原材料のポテトは、北米（北アメリカ）から輸入されていて、船で運ばれています。その船は、途中カナダのバンクーバー港を経由して日本に到着します。

そのバンクーバー周辺は、昨年11月14日～15日にかけて1か月分の雨が降るという記録的な豪雨にみまわれ、非常事態宣言が出されるほどの大きな被害を受け、物流が完全にストップしました。2か月たった今も、まだ完全復旧には至っていません。また、コロナ禍での物流網の混乱も重なり、北米からのポテトが日本に届かないという事態になっているのです。遠いよその国で起きた災害が、日本にいるみなさんの生活にまで影響を及ぼしているのです。

もう一つ。1月15日に、日本から8000 km離れた南太平洋にある「トンガ」という国の火山島が大噴火をしました。1000年に1度の大きな噴火とも言われています。その噴火の衝撃が空気を振動させ「衝撃波」として、音と同じ速さで世界中に広がり、16000キロ離れたイギリスにまで到達したと言います。また、トンガでは15mを超える「津波」が発生し、遠く離れた日本にも90cmの津波が起こりました。日を追うごとに被害の状況が少しずつ分かってきていて、とても心配な状況です。

さて、この二つのニュースに共通することは何だと思いませんか？

それは、「世界はつながっている」ということです。みなさんの周りで起きていることが、遠く離れた国での出来事が影響していることがたくさんあります。

だから、いろいろな情報を意識してキャッチしてほしいのです。先生は、毎日新聞に目を通して情報をキャッチすることを意識しています。スマートフォンでニュースを見ることもあります。スマートフォンはだんだん自分の興味のある記事ばかりが出てくるようになってきているので、気を付けて見えています。特に、高学年の人はテレビのニュースや新聞を、意識して見てほしいと思います。

さらに、そのニュースから「想像力」をはたらかせて考えられるようになってほしいと思います。トンガの火山噴火のニュースを聞いて、先生は「もし、富士山が噴火したら日本はどんな状況になるのだろうか？」と想像をしました。火山灰の影響はどこまであるのか、日本の経済に与える影響はどのようなのか等。そして、自分自身にできることは、防災の準備を見直すことだと思いました。遠い国で起きたことを「他人ごと」と捉えずに、「自分ごと」として捉えて想像力を働かせて考えることができる人になって欲しいと思います。

一週間が始まります。コロナに負けずに健康で過ごせるようにしましょう！